

奈良文化女子短期大学 幼小連携ワーキンググループ
第30回 議事録

1. 日 時： 平成23年11月19日（土） 11:00～13:00
2. 場 所： 奈良文化女子短期大学 本館 5階（第1演習室）
3. 参加者： 11名
4. 内容

(1) はじめに

①参加者 自己紹介

新規参加者：岡田和子（奈良市立飛鳥小学校）

②学生参加者

2回生：松田輝子

(2) 幼小連携資料及び実践から学ぶ

全国の幼小連携の実践資料等から情報交※「入学後はじめての7つの課題」シリーズ

奈良文化女子短期大学 善野八千子教授

1. トイレをつかう（生活上の自立）
 - ・入学後初めて小学校のトイレを使用するのではなく、入学前体験で「トイレたんけん」をすることも必要。
2. ランドセルをしまう（生活上の自立）
 - ・小学校ではランドセルのしまい方に一生懸命になってしまいがち。
ランドセルに詰まっている家族の思い、子どもたちの期待から物を大切にすることへ
3. 話す・聞く（学習上の自立）
 - ・入学前には集団生活で「話す・聞く」ができていた子どもたちが、入学後、変化するのはなぜか。*本日はこの項目を中心に
4. 文字を書く（学習上の自立）
 - ・文字指導を入学前にするか、しないかの2択ではない。関心から意欲の転換と環境構成が重要
5. 教科書で学ぶ（学習上の自立）
 - ・みんなの絵本から私の教科書へ。
6. 数との出会い（学習上の自立）
 - ・数あそびから算数へ。何を意識し、幼児期の環境を構成していくことが有効か。
7. 着替える（生活上の自立）
 - ・保育質の日常的な着替えから小学校での体育、身体測定、給食着などへの着替え。

以上の7つの課題から、「3. 話す・聞く（学習上の自立）」について

円滑な人間関係を築くための「話す力」「聞く力」が十分育成されていないなどとして、「伝え合う」ことが重要であることが指摘されている。その元になるもの、「話す・聞く・読む」など教科「国語」にとどまらない「国語力」が必要。

具体的に、入学前と入学後の「話す・聞く」の違いとは

- ① 先生と子どもたちとの距離… 幼児教育→目線を合わせて。1対1対応中心
小学校 →教卓、机の壁。室内全体に
- ② 挙手をし、発言する意味… 幼児教育→手を挙げ、あてられたら発言。
小学校 →人の話を聞くため、聞いてもらうために挙手し、発言する。

入学前にきちんと「話す・聞く」ができていた子どもの力→小学校入学後につなげる

- ・どちらの現場でも共通する思いは「みんなに話してよかった」と思う体験をさせたい。
- ・場面による声の大きさの違いを意識（小学校）
- ・少し緊張感の伴うスクール形式の座席をベースとして、「お話の輪」、「コの字型」なども取り入れる。

【3点の意識ポイント】

- ・焦点化…活動前に明確なテーマを提示する。
- ・視覚化…小学校で突然「黒板を見なさい。」ではなく幼児期からホワイトボードなども活用。絵、写真、色（色覚障害への配慮）などの活用。
- ・共有化…意図的なペアワークで話し合い活動への全員参加を促す。

(3) 接続カリキュラム2月～3月作成版の改訂及び週案作成

幼小混合でワークショップ

(模造紙に前掲の幼小接続カリキュラム就学前週案フォーマットを貼付し、書き込み。)

以下、ワークショップでの検討内容（前回の内容を引き継いで加筆。）

◆春の自然

環境構成（学習園・畑）

- ・子どもたちの活動場所で育てる。（子どもの関心意欲に応じて継続観察できる場所、生活動線）
- ・栽培するものの選択（インパクト大、発達にあった世話のしやすさ、生長の変化が顕著なもの）
- ・ソラマメの発達から…空に向けて育つ→子どもの調べ学習へつながる
- ・春のうた・音楽

〔 幼児教育…「春のうた」（「つばみのうた」「春」など）から春を感じる。歌い継がれてきた童謡。情景が浮かぶ歌詞
小学校 …「季節のうた」より「なかま、友達のうた」
音楽の教科書には幼小での重複が多い。

→小学校で使用している教科書を幼稚園にも届けてほしい。

- ・枯れた様子も知る（感覚）→おばあちゃんになる。
- ・幼児教育でのお誕生日会の取り組み。
家庭にも「ねらい」を伝え、子どもの成長を振り返り、思い出、エピソードなど協力してもらう。
- ・やはり幼小の教員の交流が大切（改めて）
- ・幼児教育側からは取り組みに関する資料を届けることが必要。
- ・小学校側からは教科書を届けることにより幼児教育で先を見通した活動ができる（音楽・図工）
- ・変化するもの、しないもの、残していくもの選択（うた、絵本等）
- ・「栽培」から「食育」、「命の大切さ」へとつなげていく。

<参加学生の感想抜粋>

●土曜日も勉強させて頂きまして本当にありがとうございました。

いつもより密なお話を聞かせられました。親の立場としての心が共感でき、ウルツとなってしまいました。幼稚園の先生は小学校に入学させるために、こんなに時間をかけて下さっていることに、ただ驚くばかりでした。来春からは、実施していく立場にあることを改めて認識しました。

不安の方が多いですが、「相談させて頂ける会や先生方がおられるっ！」と言う安心感も持てました。ありがとうございました

4. 次回の予定 平成23年12月17日（土） 11:00～12:30

*毎月定例は、第3土曜 11:00～12:30